

遠州鉄道ラッピング電車の運行を開始しました

電源開発株式会社（以下「Jパワー」、本社：東京都中央区、代表取締役社長 社長執行役員：加藤 英彰）は、佐久間ダム・発電所の運転開始 70 周年および NEXUS 佐久間プロジェクトの本格着工という大きな節目を記念し、遠州鉄道株式会社の協力のもと、天竜川流域・オクハマ（北遠）地域をテーマとしたラッピング電車の運行を開始しました。

本取り組みは、地域の皆さまと歩んできた佐久間の歴史を振り返るとともに、次の世代へ繋いでいく未来への思いを形にすることを目的としています。企画の検討・準備は約 1 年にわたり、Jパワー中部支店、佐久間電力所、NEXUS 佐久間建設所を中心に進めてきました。

ラッピング電車のデザインは、浜松市の静岡文化芸術大学の学生を対象に実施したデザインコンペにより決定しました。昨年 9 月から募集を開始し、応募作品 10 点の中から、同大学の学生 5 名で構成されたグループによる作品が選ばれました。

参考：2026 年 2 月 20 日付お知らせ「[佐久間ダム・発電所 70 周年および NEXUS 佐久間プロジェクト本格着工を記念した遠州鉄道ラッピング電車のデザインを決定しました](#)」

デザインには、佐久間ダムをはじめとする天竜川水系の水力発電設備が、地域の風景の一部として自然や文化と調和して存在している姿が描かれています。あわせて、佐久間町の郷土芸能「竜神の舞」や、県指定無形民俗文化財「川合花の舞」など、天竜川流域が育んできた文化や魅力が表現されており、地域への誇りと親しみを感じさせるデザインに仕上がりました。

車体に掲げたキャッチコピーは、「天竜川の力を未来へ。佐久間×J-POWER」。

天竜川の水力エネルギーとともに歩んできた佐久間の歴史を未来へとつないでいく、Jパワーの思いを表現しています。



(ラッピング電車)

2026年3月31日、遠州鉄道西鹿島駅にて、ラッピング電車の運行開始を記念した出発式を開催しました。当日はあいにくの雨模様でしたが、遠州鉄道、静岡文化芸術大学、Jパワーが出席し、テープカットを行うなど、ラッピング電車の門出を祝いました。

出発式では採用されたデザインを手がけた学生5名グループの代表者の種市さんから、「ダム、人・伝統、都市部と天竜川の間をテーマにデザインを作成しました。治水・利水によって自然との近代的共生を図るダム、天竜川の豊かな自然環境とそこに暮らす人々が育んだ魅力ある伝統と文化、そして水資源や電力、伝統文化といった天竜川の恩恵を享受する都市部とのつながりを描きました。このデザインを通して天竜川下流域や中山間地（オクハマ）の方々には地域の魅力を再発見し誇りに思っただけ、また都市部の方々にはその恩恵に改めて気づき、地域へ貢献して新たな関係人口になるきっかけになれば良いと思います。」とコメントをいただきました。

式典の出席者が見守る中、ラッピング電車は定刻どおり西鹿島駅を出発し、浜松の市街地を走り始めました。

本ラッピング電車は、約1年間の運行を予定しています。日々の沿線風景の中で多くの方の目に触れることで、天竜川流域の歴史や文化、水力発電が果たしてきた役割への理解が広がることを期待しています。Jパワーはこれからも、地域の皆さまとともに歩みながら、エネルギーの価値と地域の魅力を未来へつないでいく取り組みを進めていきます。



(テープカットの様子)

本ラッピング電車の運行に併せて、遠州鉄道の駅で以下のPRを行っています。

- PR映像（新浜松駅 大型デジタルサイネージ）：映像は[こちら](#)からご覧いただけます。
- ポスター（各駅）

